

# ALS等における コミュニケーション支援体制構築事業

## 事業目的

日本のALS患者は、毎年数百人が発症し、現在おおよそ9千人がその難病と闘っています。人工呼吸器の装着、運動機能障害等の症状進行に伴うコミュニケーション障害は、患者にとって最大の苦痛です。

各地域の特性に合わせ、その時点で可能な限りの意思伝達方法と手段を提供できるコミュニケーション支援体制の構築をめざします。

## 事業内容

以下の事業を3年計画で実施中！

### 【事前調査 / 分析】

- ☑ コミュニケーション支援活動の活動状況把握
- ☑ 各地域の関係団体への本事業への協力依頼
- ☑ 各地域での支援者の洗い出し

### 【支援者向け講習会】

- ☑ 支援機器伝達講習会の実施
- ☑ 支援者間のネットワークの構築



### 【シンポジウム】

- ☑ 患者家族への啓発
- ☑ 行政、医療、看護、介護職への啓発
- ☑ 地域の支援ネットワークの構築

## 現状の課題

IT機器の発達により、様々なコミュニケーション支援機器が開発されています。

一方、コミュニケーション支援機器を適切なタイミング、適切な方法で導入できている患者は少なく、コミュニケーション支援者の育成と地域で継続できるコミュニケーション支援体制の構築が課題です。